

旧金庫室
企画展

両替屋の役割や庶民の暮らし

江戸と お金



Resona Koedo Terrace
Special Exhibition
Money Culture in EDO

2025 3.16日
令和7年 — 5.31土

会場 リそなコエドテラス
Resona ギャラリー
(埼玉県川越市幸町4-1)

開催 10:00-17:00
時間 (休館日なし)

入場無料
FREE
Admission

企画展詳細や
イベント情報配信中!



@LABTAMA_OFFICIAL
公式Instagram



出典：日本銀行貨幣博物館常設展示図録（画像は同館所蔵）

共催 (株)埼玉りそな銀行
(株)地域デザインラボさいたま
制作 (株)櫻井印刷所
資料提供 日本銀行貨幣博物館



りそなコエドテラス
Resona Koedo Terrace

経済を支えた両替屋

物流を支えたお金 —全国市場の形成—

幕藩体制のもとで米をはじめとする商品流通が活発になり、幕府が発行した金貨・銀貨・銭貨と両替屋の信用がこれを支えた。各藩の領地で生産された米は、年貢として藩に納められた後、大坂をはじめとする流通拠点で換金されて参勤交代などの費用などに使われた。江戸、大坂、前橋三都府および三都府と各地の間は街道や水路で結ばれ、全国的な商品と情報の流れが活発になっていった。



金遣い・銀遣い・銭遣い

参勤交代については、江戸を中心とする幕府側では金遣い（金・銀・銭）で、大坂を中心とする各藩側では銀遣い（銀・金・銭）で、参勤交代がなされることになった。参勤交代では、全国的に銀貨の単位（匁）が統一された。参勤交代日本では参勤交代にも銀貨の単位が統一されることになった。

お金の流れを支えた両替屋

江戸と大坂、参勤交代の途次

江戸と大坂、参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。

大坂・参勤交代の途次

大坂・参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。

江戸のお金を学ぶ

さまざまな江戸のお金

江戸時代には、藩だけでなく、さまざまな主体が紙幣を発行した。幕府する日本最初の紙幣は、伊勢地方の商人によって発行されたものだった。旗本や公家、寺社なども、自らの領地で紙幣を発行した。また、鉱山や宿場など特定の地域で商人などが紙幣を発行することもあった。

初期の私札

初期の私札は、17世紀初めに商人が伊勢地方の商人によって発行された。旗本や公家、寺社なども、自らの領地で紙幣を発行した。また、鉱山や宿場など特定の地域で商人などが紙幣を発行することもあった。



山田羽書

江戸時代を通じて発行された山田羽書は、17世紀初めに伊勢地方の商人によって発行された。旗本や公家、寺社なども、自らの領地で紙幣を発行した。また、鉱山や宿場など特定の地域で商人などが紙幣を発行することもあった。

現在する日本最初の紙幣「山田羽書」は、17世紀初めに伊勢地方の商人によって発行された。旗本や公家、寺社なども、自らの領地で紙幣を発行した。また、鉱山や宿場など特定の地域で商人などが紙幣を発行することもあった。



紙幣にデザインされたえびす・大黒

江戸時代の紙幣には、えびすや大黒などのデザインが用いられた。えびすは福の神、大黒は金持の神とされ、紙幣にデザインされたことで、紙幣が福や金持の象徴として広く受け入れられた。



日本独自の貨幣

中国の銭貨流通図からの自立

1600年に江戸幕府は寛永通宝を發行し、1600年には寛永通宝以外の銭貨の流通を禁止した。日本では国家標準となる寛永通宝・銭貨を制定し、独自の貨幣を使うようになった。



村の生活とお金

江戸時代中期になると、農村でも商品作物を栽培して販売し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。

村の生活とお金	江戸時代中期	江戸時代後期
1600-1650	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。
1650-1700	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。
1700-1750	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。
1750-1800	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。
1800-1850	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。
1850-1900	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。	農村で米を栽培し、その代金で農具や肥料、日用品を買う生活が盛んになっていった。

両替屋と金銀銭の相場

金貨・銀貨・銭貨の金銀相場

両替屋は、金銀銭の相場を定めた。寛政の相場は、金（両）建ての江戸と銀（匁）建ての大坂。参勤交代の途次で両替屋が重要な役割を果たした。参勤交代の途次には、両替屋が重要な役割を果たした。



出典：日本銀行貨幣博物館常設展示図録（画像は同館所蔵）

江戸とお金 両替屋の役割や庶民の暮らし

【江戸とお金 企画展】入場無料



出典：日本銀行貨幣博物館常設展示図録（画像は同館所蔵）

開催期間：2025年3月16日(日)～5月31(土)まで

- 描かれている主なパネル展示
- ① 物流を支えたお金
- ② 両替屋の金融力と仕事
- ③ さまざまな江戸のお金
- ④ 買い物と通帳
- 旧金庫室ギャラリー内で開催。